



長照寺だより

# わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 撰取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242  
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: [info@cyoshoji.or.jp](mailto:info@cyoshoji.or.jp)



## 門信徒会親睦研修旅行

(親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要参拝)

令和5年5月15~16日 西本願寺

「何ごとにおいても善いことを思いつくのは仏のおかげであり、悪いことでもそれを捨てることができたのは、仏のおかげである」

(蓮如聖人御一代記聞書)

## この世を終わると次の世は？



### 住職 本持愚山

近頃大変熱心に仏教書を読みその内容をもっと分かりやすく説明して下さいと訪れる方がいらっしやいますが、残念ながらその場でお答えができない私です。言い訳がましい事を言いますと、その仏教書を著述された方は自分の思いが強く入っている場合が多いと思います。

そもそも宗教に関わる書籍はその内容が人生の歩みや、日常の営みに影響される事柄を読み取る事ができます。そう言う意味で考えてみますと、あらゆる宗教書、仏教書籍は「人生の教科書」と言えますが、ここで問題が起こります。それは単に本を読む日暮らしや趣味の世界であり続けるものであるなら大変結構な事です。しかし読まれた仏教書が自分自身の生きる道を変化させてしまう事態だけは避けたいものです。

ところでこうした宗教諸本を読まれる方々の目的や目標、目指すもの、得たいものは何でしょうか。心の平安？何事にも動じない強靱さ？物知り人間？平常心会得？。全て大切な事柄です。が、これから自分が向かうべき道はど

ちらか？次世は？の思いが本音と感じられます。如何でしょうか。

蓮如聖人は、ご文章に「それ八万の法蔵をしるといふとも後世をしらざる人を愚者とす。たとい一文不知の尼入道なりといふとも、後世を知るを智者とすといえり。」（聖典一一九〇）このご文の後に説明が加えられています。それは、無理にあるいはことさらに宗教書を読んで賢くなっても大した意味はありません。それよりも、仏道修行に励んでいる者達も含めて「やがて」（往生）を迎えた時、帰るべき処がある事だけを知っている者こそ「智者」と言えるのです。

現代社会で人生をよく「旅」に譬えられます。皆さんが今お住みの家から何によらず、出られる事になった時、何時間でも、何日でも家を空ける事に多少の心配はしますが、安心して外出外泊するでしょう。それは、時が過ぎれば自分の家に帰られるからです。要するに人生と言う旅が終わりますと必ず帰る事のできる世界が約束され心配はいりません。以上安心してこの世を渡して下さい。

この様な思いを提供させていただきますが、それではもうお寺には行かなくてもよいなどと思わず、読書の日々を過ごしつつ、生かされている事に喜ばれお寺へも足を運んで下さり共々に遊びながら学びも深めていきましょう。

称名念仏



# 活動報告 令和五年度上期

## 花まつり「お釈迦様の誕生日」

令和五年四月十五日



## 門信徒会定期総会

令和五年五月七日

各議案、ご承認いただきました。

## 門信徒会親睦研修旅行

(親鸞聖人御誕生八五〇年・)

立教開宗八〇〇年慶讃法要参拝)

令和五年五月十五〜十六日

…西本願寺(京都)

※写真は表紙に掲載

## 静岡東組組会・総代研修会

令和五年五月三十日：善教寺(三島市)

講師 東森 尚人 師

(東京教区教務所長)



## 第五十三回

## 門信徒会親睦ゴルフコンペ

令和五年六月五日：三島カントリークラブ



優勝 井上 明さん

準優勝 小坂 正義さん

## 境内清掃作業・親睦懇親会

令和五年七月二十三日



## 合同盆法要(全八回)

令和五年三月二十二日



## 恵みのお参り(七五三のお参り)

令和五年八月二十一日



鈴木 玲依(れい)さん

※写真は4ページにも掲載

## 秋季彼岸会法要

令和五年八月二十一日



講師 川茂 唯順 師

(本願寺派布教使)

# 今後の活動予定

令和5年(2023)		
10月 26日(木)	門信徒会親睦ゴルフコンペ	三島ゴルフ倶楽部
11月 19日(日)	報恩講	本堂
12月 10日(日)	境内清掃作業	境内
12月 31日(日)	除夜会	本堂
令和6年(2024)		
1月 4日(木)	修正会	本堂
3月 20日(水)	春季彼岸会法要	本堂
3月未定	つきじー泊(わんぱく)子ども会(仮)	未定
毎月第3土曜日	定例法座 ※彼岸会・報恩講等の法要と兼ねる 月もあります。	本堂

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。  
 ※定例法座は毎月第3土曜日 午後1時より本堂にて開催。  
 ※その他に親睦の集いを募集・計画中。

〔日頃の忙しさから解放されて  
 気持ちが軽くなる自分を発見  
 できるかもしれません。〕

## 恵みのお参り



鈴木 玲依(れい)さん(七五三)



新井 美羽(みう)さん(成人の報告)

※前号に掲載させていただきましたが、  
 氏名に誤りがありましたので、  
 お詫びして訂正させていただきます。

編  
集  
後  
記

☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。  
 ☆お寺は「よろず相談処」です。日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。  
 ☆次回寺報は、2024年4月発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで  
 〒411-0044三島市徳倉1195-817 TEL・FAX 055-988-3900  
 編集人=菊沢・斎藤・園田・杉山・船坂